

みなしご通信



環境省 偽りの「殺処分ゼロ」

時事通信の記事を読みま

した。内容は「環境省は自治体が掲げる犬猫の「殺処分ゼロ」の定義を明確化し譲渡が難しいケースを除外する方針を固めた。引き取った人がかまれる事故や感染症の流行を防ぐのが狙い。環境省としては譲渡が難しい個体の殺処分はやむを得ないとの考え」というもの。

■誰がどう決める？

この記事に、私は腹わたが煮えくり返りました。環境省は、どんな犬猫が「譲渡に適さない犬猫」にあてはまるのか、その定義を明確にしないまま、それに該当する犬猫は殺しても殺処分数にカウントしないことにするようです。「誰かに」譲渡に適さないと判断された犬猫たちは、殺されたことすら、なかったことにさ

れてしまうのか！

いいですか？ 収容された犬の89%、猫の85%は飼い主不明です（平成28年度統計）。その多くは収容された時点では甘えてこない犬猫だと推察されます。心を通わすには時間と愛情をかける必要があります。攻撃性がある犬猫の場合、攻撃性をなくすだけの環境整備も必要です。

「愛護」の言葉の定義は



※この写真と本文は無関係です

頭に乗るカラス

かんちゃん子がガラスのともちゃんに変なクセをつけたから、暑いのに私は家ではずっと子ガラスを頭にさせてます。家の中で一番



動かない人間が私なもんで必然的にこうなるんですよ

ね：私の髪の毛は鳥の巣みたいだし頭も大きいから、ともちゃん的には乗りやすいんだと思います。それにしても：子ガラスでもカラスはカラス。常に勝ち誇った態度でしょ（笑）

【かわいがって大切に守ること】なのにその正反対の行為をなしながら、なんのちゅうちよもなく【愛護センター】と称し、これまでの長い年月、法律の真逆のことをしていることにまったく悪びれもせず、ほんのわずかな数の犬猫だけを譲渡し、収容された犬や猫がどんな気持ちでいるのか考へもせず「咬みつく」「人に馴れない」「新しい飼い主が現れなかった」「収容場所がなくなった」などの屁みたいな理由で、ただただ殺してきた自治体。それいつらが、なにを今さらほざく？ ★いつの時点で★誰の★どのような判断をもって「譲渡に適さない」と正しい判断をできるのか？ これまで個人からの依頼

も含め全国の保健所センターから引き出された約8千匹の犬猫を差別も区別もなく引き取って育ててきた私の経験では、怖いぐらいの攻撃性を持っていた犬や猫がわずかに数日後に『とつても人なつっこいかわいらしい子だったのね！』に変貌したことはゴマンとあります。

■開き直る行政機関

今回も電話した環境省と東京都からは「そもそも動物の愛護と管理の法律には殺処分をしてはいけないとはどこにも明記されていません」と言われました。今までも各自自治体から言われてきた言葉です。けど殺処分は動物愛護法の【基本原則に反する行為】なんですよくだ！ 殺されていい命がこの世にあるはずがなかる

う！法の目的や基本原則に沿った本来あるべき動物愛護行政を遂行するためには「譲渡に適さない犬や猫を殺すこと」ではなく「譲渡に適するよう努めること」に重点を置くべきなのです！自治体がすべきことは税金を使って何億円もかけて『結局殺すじゃん』みたいな名ばかりの《愛護センター》を建てるのではなく「譲渡に適するよう努めるため」のノウハウを持った人員を確保し、その人たちがその名に恥じない《愛護センター》を建て、そこで去勢・避妊手術を行い、官民一体となって譲渡を進めていき、ゆくゆくは保健所・センターに持ち込まれる犬猫をゼロにしていくことなのです。

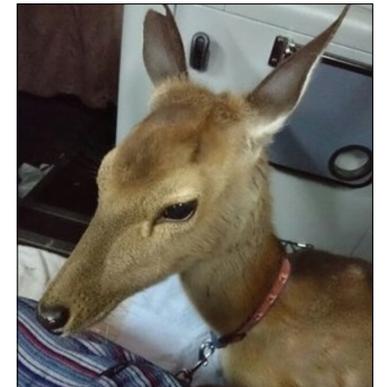
捨て子猫注意

この時期はなんの罪もない子猫を段ボール箱やビニール袋にゴミ同然で入れ捨てるヤツが現れるので気を付けて！怪しい段ボール箱やビニール袋を見かけたら勇気を出して開いてください！そしてもしその中に子猫が入っていたら、それは【事件ですから】警察を呼んで『動物の遺棄虐待は犯罪です！』と捜査を頼み、子猫を保護して助けてあげてください。

田原とUPA

5月14日はうちの田原君の誕生日。その日に出動していたスタッフが書いた「おめでとうプレート」を首から下げる凜としたお

【トリミングでゴキゲン】「ボク、シャンプーしてもらったんだ！」と二足歩行でご満悦のポンポン君。後ろには「あたしも！」とこまち婆さん。2匹とも真っ白になってます♪



るちゃん。読むと「足腰に気をつけて」とか「健康に気をつけて」とか「倒れないで」とか田原君を考えているようですが、すべては「バスを運転するために」「大工仕事をするために」「咬む子を捕獲するために」につながっています。結局はみんなまだ《使いたい感》ありありもちろん私も同感です（笑）本人はかなり喜んでいて《この段ボール破片》を「捨てるなよ」と言ったんだそう（笑）

実は5月14日は鹿のUPAの誕生日でもあるのです。小さいころは子猫と同じで命を育てるわけですから下痢や低血糖やいろんなことがありましたが、生後4ヶ月には去勢も終わり、

ようやく先月ぐらいから昼間の数時間だけでも《お母さんがいなくても過ぐせる》ぐらい精神的にも成長しました。寝たままオシッコをする習性は子鹿のまま抜けんけどいつの間にかペットシートもグチャグチャにしなくなり、手のかからないいい子になりました。ハッピーバースデーUPAちゃん、うちに来てくれて本当にありがとうございます♪

7月の予定

- 8日 || 那珂川町 TNR
- 18日 || 瀬戸市 TNR
- 5日 || 広島県協働・尾道 TNR

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングビングで寄付ができます。
<https://japangiving.jp/supports/1281> 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

JAPANGIVING

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
<http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html> に掲載しております。

NPO法人（特定非営利活動法人）
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
 〒731-0234
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711